

ハクサハ冬ニ至レバ葉盡ク凋落、不凋草ト云ベカラズ、根モ又曲節ノミニシテ連珠ニアラズ、眞ノ巴戟天ハ樹下陰地ニ生ズ、草ニアラズ、小木ナリ、形大葉ノ虎刺アリトトシノゴトク、枝葉兩々相對シテ出ヅ、葉出ヅル所ノ左右ニ小刺アリ、葉ノ形頗茶葉ニ類ス、經冬不凋、至秋赤實ヲ結ブ、大サ綠豆ノゴトシ、根赤黃色ニシテ、略牡丹根ニ似テ連珠ヲナス、心アルコト麥門冬ノゴトシ、根乾テ心落レバ小孔アリ、大明宗奘ガ所説ト符合ス、是眞物ナリ、或ハ綱目草部ニ出ルヲ以テ疑フ者アリ、然ドモ綱目木本ヲ以テ草部ニ入ルモノ多シ、牡丹蓉草常山ノ類ヲ以テ知ルベシ、肥後産戊寅歲田村先生始テ得之、己卯主品中具ス、讃岐鶉足郡中通村八幡社地産、庚辛歲余源○平賀得之、壬午主品中ニ具ス、

蘇頌所説一種麥門冬葉巴戟天アリ、予未見之、松岡先生用藥須知後編、直海氏廣大和本草、モデズリヲ以テ麥門冬葉巴戟トシ、藥肆所稱ノ棒樣ノ巴戟、即チ是ナラント云モノ大ナル誤ナリ、東國モチズリノ一種、大ナルモノアリトイヘドモ、其根巴戟ニ類セズ、且藥肆棒樣ト稱スルモノハ、漢渡ノ内ヲ撰テ、連珠アルモノヲ珠數樣トシ、連珠ナキモノヲ棒樣トス、其本ハ一物ナリ、決シテモチズリ根ニアラズ、又己卯歲社友福山舜調、箱根ニ遊テ所得ノ草、モチズリニ似テ花不戻、根二三ノ連珠ヲナス、初謂是麥門冬葉巴戟天ナラント、然是亦眞ニアラズ、又讃岐山中一種ノ草アリ、葉大葉麥門冬ノゴトク、又頗ルキス、グ葉ニ類ス、根連珠アリテ黃赤色、此物稍近シ、然ドモ未決、

〔和漢三才圖會九十二〕巴戟天はぎ 不凋草 三蔓草 和名夜末比々良木略○中

按巴戟天、往昔有出於本朝、今乃無之、皆用唐藥也、多連珠者佳、俗名數珠巴戟、

其葉如茗也、如麥門冬也、其異大也、三才圖會之圖亦出二種、雖謂山林人家之異、未審、

〔草木育種後編下藥品〕巴戟天本草 和名やまひ、らぎ和本名 俗に珠數根の木といふ、享保年間家祖濃

州官園に上る、今豆州にあり、予喜○阿部房州清澄山にて採り得たり、葉長短二種あり、五月枝を